

慶應義塾維持会

Newsletter

2016年9月
No.9



心からの、感謝を込めて。

慶應義塾維持会をご支援いただきまして心より感謝申し上げます。

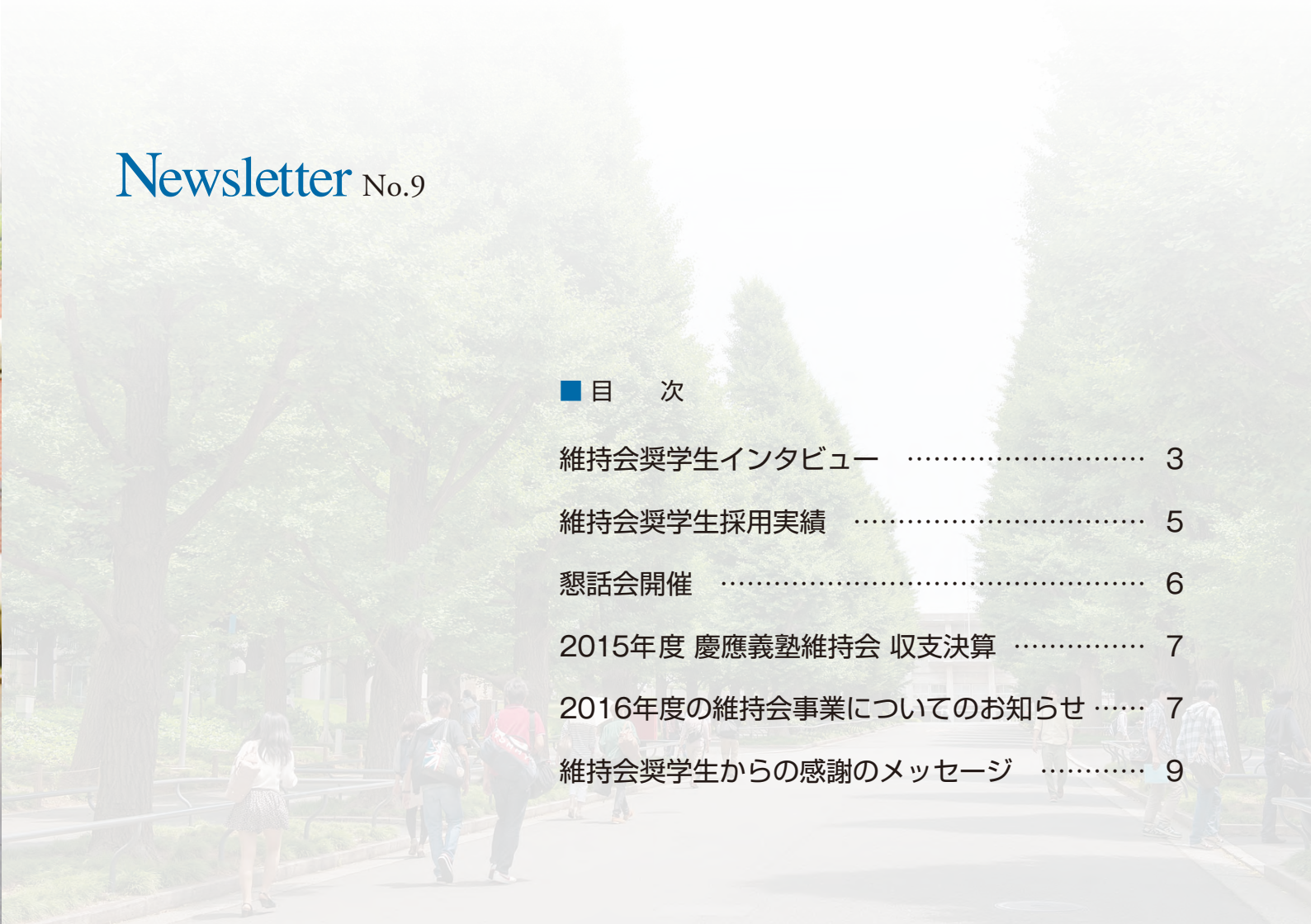
2016年度の維持会奨学生として採用された学生から、
感謝の気持ちをお届けします。



Newsletter No.9

■ 目 次

維持会奨学生インタビュー	3
維持会奨学生採用実績	5
懇話会開催	6
2015年度 慶應義塾維持会 収支決算	7
2016年度の維持会事業についてのお知らせ	7
維持会奨学生からの感謝のメッセージ	9



維持会奨学生インタビュー



■新潟県出身 法学部4年

語学学習に励む毎日です。
グローバルな視野を持ち、日本企業の
海外進出に役立ちたいと思います。

Q 一番興味のある授業は？

「国際政治経済学」の授業です。授業の最後には「日本の政党の綱領に見る『幸福』観」という小論文を書き、「幸福観」に基づき政党がパターン分けできることを示しました。先生に褒められて嬉しかったです。

Q 課外活動で力を入れていることは？

「慶應外語」で放課後にフランス語を勉強しています。私はこれまで外国語の勉強を自分なりに頑張ってきました。英語はもちろん中国語、ドイツ語、そしてフランス語を勉強しています。努力の結果、中国語検定3級やドイツ語検定3級に合格することができました。今度は在学中にフランス語検定2級を目指したいと思います。

Q 卒業後の進路、将来の夢は？

保険会社から内定を頂いています。従業員約140人と小規模ながら、通常の保険によっては救済できない、対外取引において生ずるリスクの保険を担うという重要な役割を背負っています。国際関係論を勉強して学んだことを活かして、日本の企業の海外進出を促進するために尽力したいと思います。



■長野県出身 環境情報学部3年

スポーツ工学で学んだ知識を最大限に活かし、
東京オリンピックやパラリンピックを
サポートしたいです。

Q 一番興味のある授業は？

スポーツに関する工学力学について学んでいます。スピードスケートを幼い頃から続けており、スポーツへの関心を強く持っていました。研究会では、力学的解析から運動に適したウェアラブルデバイスの作成や、スポーツ用具の作成など、近年発達した最先端技術を取り入れ、スポーツを新しい目で見て、最先端の技術を導入していくことに非常に面白さを感じています。

Q 課外活動で力を入れていることは？

体育会スケート部スピード部門に所属し、日々インカレで入賞すべく練習に励んでいます。本年は怪我のためリハビリ中ですが、冬のスケートシーズンに向け日夜努力しています。また、学外での研究活動にも積極的に参加し、スキージャンプや水泳競技など、現在日本を支えている最先端の現場を実際に体験し、その経験を研究に活かせるよう努力しています。

Q 卒業後の進路、将来の夢は？

大学院に進学したいと考えております。入試の際に「スポーツによる人材育成と心身健康の増進による社会の活性化」について述べました。スポーツの在り方と取り組み方を今一度見直し、私なりのアプローチの仕方 で日本を健康で元氣な社会へと変えていきたいと思っています。



■島根県出身 薬学部1年

海外の病院の先端技術を学ぶため、
日常会話も医療現場における語学力も
高めていきたいです。

Q 一番興味のある授業は？

早期体験実習です。まだ知識が足りないため専門的なことはできませんが、病院や薬局の見学、調剤体験、服薬指導体験など幅広く薬剤師や薬学研究者の仕事を体験しています。実際の現場を見ることで、更に学んで人の役に立ちたいという気持ちが強くなりました。

Q 課外活動で力を入れていることは？

英語会に所属しています。スピーチ、ディスカッション、ディベートと様々な分野の学内一年生大会に出場しました。英語会は帰国子女の人や留学経験のある人が多く、私のようにただ学校で英語を勉強してきただけの人は少ないので、日々圧迫されています。大会でも上手く英語が話せず悔しい思いもしましたが、諦めずにこれからも挑戦していきたいです。

Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

留学したいと思っています。グローバル化時代の中、語学はもちろん、異文化に触れ広い視野を持つことが必要だと思います。まだまだ英会話は苦手で上手くできませんが、まずは語学留学を視野に入れて勉強していきたいです。また、海外の病院の進んだ研究を学ぶために海外の病院に見学・実習に行きたいと思っています。そのため日常会話だけでなく医療現場でも通用するような語学力、コミュニケーション力を身に付けていきたいです。



■群馬県出身 薬学部2年

慶應義塾で学べることにとても感謝しています。
将来は恩返しができるよう、
日々有意義な時間を過ごしたいです。

Q 維持会奨学生として思うことは？

維持会の皆様のご支援により、慶應義塾大学に通えているのだと考えると、日頃の勉強やサークル活動などの学生生活を疎かにすることなく、毎日が有意義なものとなるような選択をし、将来的に皆様に間接的な恩返しができるようにならなくてはと思っています。

Q 一番興味のある授業は？

生物有機という科目で、生体内で化合物が実際にどのような機構で生理活性を示すのかを学んでいます。もともと有機化学が好きだったのと、1年次でも履修した機能生理学という科目にも興味があり、両者それぞれの知識が必要になる科目として、生物は一番意欲的に勉強した科目の一つです。

Q 慶應義塾の良いところは？

歴史が古く、維持会奨学金をみてもわかるようにOBOGとの繋がりが強く、多方面にわたる分野で活躍しているOBOGを多数輩出していることです。また、学生の質が全体的に高く、周りの友人を見ても、漠然と日々を送らず、何かしらの目標を持って生きていること、だと思います。

維持会奨学生採用実績

維持会奨学金

経済的理由により修学が困難な塾生に、学業に専念出来る環境を整えるため2007年に創設したのが「維持会奨学金」です。毎年、厳正な審査の下、人物、学業・成績ともに優れ、愛塾精神に富んだ塾生が採用されています。

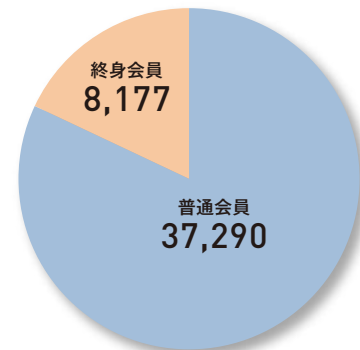
※「維持会奨学金」は給付型で返済の必要はありません。

2016年度

文・経済・法・商・総合政策・環境情報学部 から
医・理工・看護医療・薬学部 から

72名・各50万円
40名・各80万円

●維持会員の皆様が奨学生を支えてくださっています●



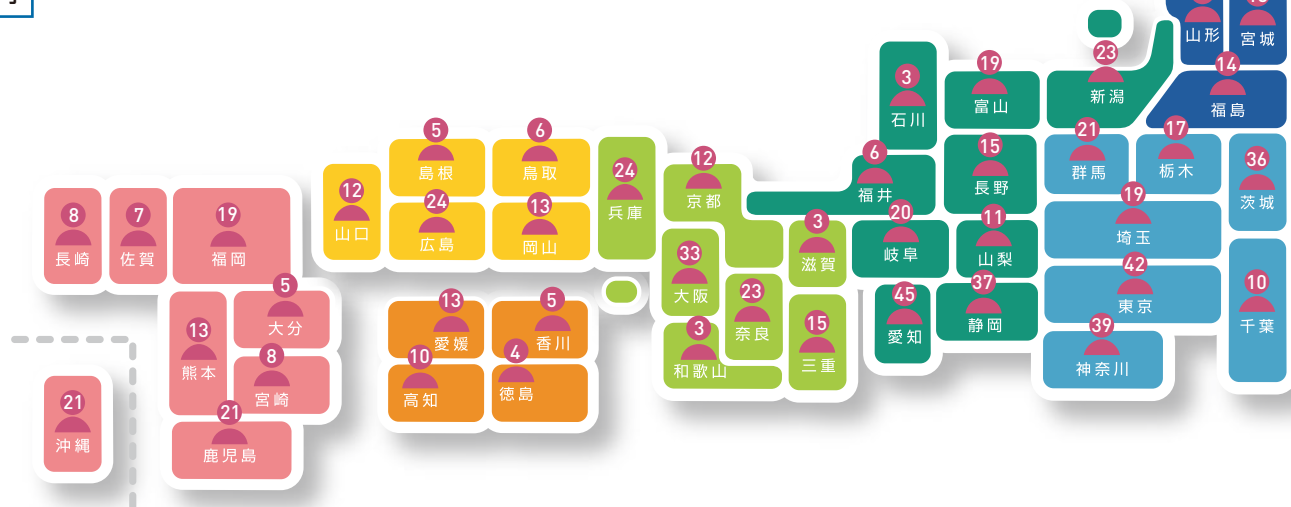
維持会員 45,467名

2016年8月1日現在



全国の
優秀な塾生が
採用されています

2007年度～2016年度まで
757名採用



懇話会
開催

7月7日(木)三田キャンパスに於いて、2016年度奨学生と維持会常任委員との懇話会を行いました。

「両親の負担が軽減し、感謝の気持ちでいっぱいです」「安心して学生生活を送ることができます」「語学留学を視野に入れて勉強していきたい」など、参加した9名の学生からは、学業と課外活動に積極的に取り組む姿勢が熱く語られました。



植村裕之維持会副会長からの挨拶。



奨学生からは維持会への感謝の言葉と、充実した学生生活が語られました。



維持会常任委員・塾長との懇談。笑顔と会話の絶えない和やかな懇談の場となりました。

2015年度 慶應義塾維持会 収支決算

(単位: 円)

収入の部	寄 付 金		165,888,283
	維持会基金運用収入		71,806,005
	雑収入 *維持会奨学金返金分(2014年度退及退学者)		250,000
	(1) 収入の部合計		237,944,288
支出の部	維持会事業費	奨学支援事業	61,500,000
		その他の財政支援事業	7,306,005
	管理経費	会員用三田評論諸経費	16,422,585
		事務経費	18,623,927
	(2) 支出の部合計		103,852,517
収支差額(1)-(2)			134,091,771
(3) 年度末維持会基金残高			3,724,392,026

(1)収入の部
新規入会388件、継続6,848件、計7,236件の寄付金と維持会基金運用収入および雑収入(維持会奨学金返金分(2014年度退及退学者))により237,944,288円となりました。

(2)支出の部
奨学支援事業:「慶應義塾維持会奨学金」に61,500,000円を充当しました。

その他の支援事業: キャンパス施設整備資金・障がいのある学生への学業奨励金・「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金として7,306,005円を助成しました。

管理経費: 会員への『三田評論』発送郵便料等、維持会勧誘に伴う趣意書等作成費・DM発送郵便料等35,046,512円を支出しました。

(3)維持会基金残高
収支差額を全額維持会基金に組み入れた結果、残高は3,724,392,026円となりました。

昨今の経済状況において運用益が減少する場合でも、維持会事業が遂行できるよう財政基盤を強化します。

2016年度の維持会事業についてお知らせいたします。

維持会事業費予算 74,487,840円(2015年度末維持会基金残高3,724,392,026円の運用益)

奨学支援事業「慶應義塾維持会奨学金」
68,000,000円

353名の応募があり、計112名の塾生に支給することが決定しました。

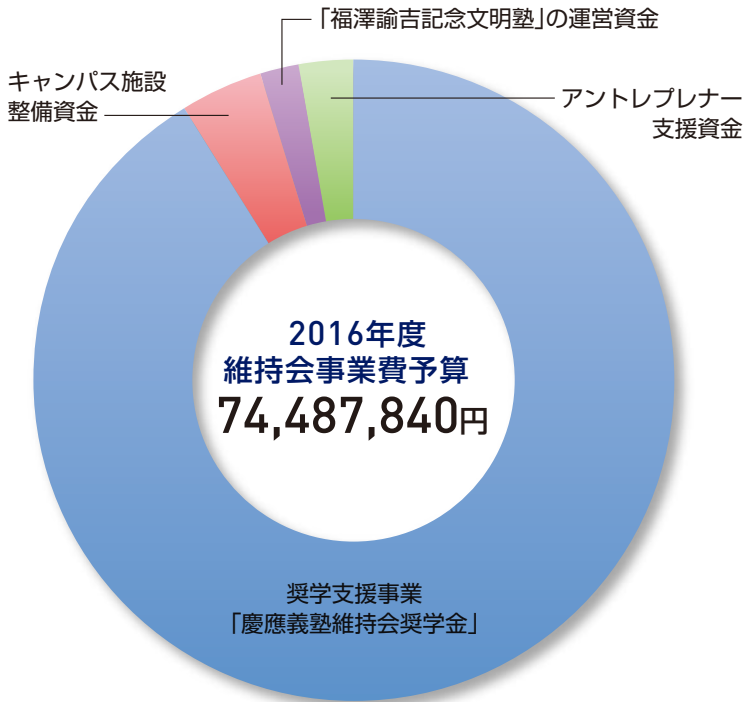
《2015年度実績》
254名の応募があり、計105名の塾生に支給しました。



キャンパス施設整備資金
2,987,840円

義塾では、塾生の教育・課外活動等における環境を一層充実させるための施設整備を計画しています。維持会からこの資金を助成します。

《2015年度実績》4,306,005円
大学キャンパス(日吉)第4校舎(A棟・B棟・独立館)サイン改修工事費を助成しました。



「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金
1,500,000円

義塾の原点を見つめ未来貢献を志す先導者を育てるべく創立150年記念事業の一環として開講されました。これからの社会で求められるリーダーシップについて対話と議論を通じて考える場を、塾生、塾員に限らず学ぶ志のある全ての人に提供しています。また、「福澤諭吉記念文明塾」での成果を発信することにより、学ぶことの楽しさを社会全体に広める取り組みを行っています。維持会からこの資金を助成します。



《2015年度実績》2,500,000円

アントレプレナー支援資金
2,000,000円

義塾の学術的研究活動によって生み出された研究成果の社会的活用の促進を目的に、義塾の知的財産権の実用化に際して設立されるベンチャー企業1社につき最大100万円の出資を行います。

《2015年度実績》0円 該当がありませんでした。

2016
年度

維持会奨学生からの 感謝のメッセージ

(掲載内容は一部抜粋しております。)

責任と感謝をもって毎日を充実させたいです。

私は国家公務員を志望し、中でも厚生労働省を志望しています。
振り返れば、私は入学当初、学費の工面のためアルバイトに追われ、とても学問など出来るわけがないと、半ば学生生活を諦めていました。
しかし、維持会の皆様のお陰で、本当に様々な経験をすることが叶いました。この国の福祉にはまだまだ不十分な点も多くあります。私などは恵まれていて、世間には、大学や、ましてや高校にすら通えない学生もいるのです。環境は全く異なりますが、もし国の福祉に携わることができれば、維持会の皆様に教えていただいた社中協力の精神を忘れず、また生かしつつ、国民のために汗をかきたいと思っています。
大人でありながらも、大学生という自由の中では、つい怠惰の弊風を生じさせてしまうものです。しかし、維持会奨学生としての4年間では、多くの方の助言や支援によって、私の悪習は断ち切れ、社会並びに人に対し、塾生として学び得たものを還元していかなければならない、という責任感を常に持つようになりました。維持会の皆様に対する感謝の気持ちを常に持ち、残りの学生生活を充実したものにし、今後とも精進してまいります。

京都府出身 文学部4年

義塾が誇る「半学半教」の理念を実践しています。

この度は、昨年度に引き続き慶應義塾維持会奨学金に採用していただきまして、誠にありがとうございました。前年度は、お陰様でこの上なく充実した大学生活を送ることができました。

私は現在、学業の傍ら都内の大手学習塾で塾講師の仕事をしています。義塾が誇る「半学半教」の理念を実践できると思い、この仕事を選びました。勉学を除く課外活動は、自らの給与によって工面するというのが両親との約束ですので、学業に支障のない範囲で教壇に立ち、小中学生に勉強を教えています。未熟者ながら、実際に社会に出て働いてみると、維持会から支給していただいている奨学金の額がいかに大きなものであるかということを感じいたします。一塾生として、一奨学生として他の範となるよう励まなければならないということ、改めて心に刻む次第です。

2年生となった現在は法律学の基幹科目を学び、迫りつつあるゼミ選択について考えています。卒業後は、ジャーナリストになることを考えており、その夢に弾みがつくようなゼミに入りたいと考えています。三田には魅力的なゼミや分野が多いため、候補を絞ることが大変ですが、悔いのない最上の選択をしたいと思っています。加えて本年度は、義塾の歴史を学ぶ講義を数多く受講し、福澤先生や小泉信三元塾長をはじめとする義塾の功労者の足跡を追っています。こうした独自の設置科目は興味深い内容ばかりで、必修科目と同等に力を注ぎ、学んでいます。

課外活動については、私の所属するワグネル・ソサィエティー男声合唱団は本年で創立115周年を迎え、それを記念する演奏会を開催いたします。一度しかない大学生活ですので、サークル活動にも全力で取り組みたいと決意しております。学業のみならず課外活動においても、維持会ひいては塾員の皆様に対してご恩返しをさせていただきます。

山梨県出身 法学部2年

初心を忘れず義塾と社会に恩返ししたいです。

この度は慶應義塾維持会奨学金に採用していただき深く感謝をしております。

私は応用化学科に所属しており、様々な授業の中で今一番興味を持っていることは、蛍の生物発光を利用してがん細胞を発見するというものです。この技術が確立されれば、がん細胞の発見が遅れて亡くなってしまう人々の数を限りなく0に近づけることができると思います。私は、母と二人の生活ですが、苦しい生活の中でも私が希望する慶應義塾大学への入学を快く応援してくれた母親や、祖父母に本当に感謝しております。家族への感謝はもちろんですが、このような奨学金で助けていただいたことを決して忘れることなく、自分が社会に出た際は、慶應義塾大学はもとより、社会に少しでも恩返しできればと思います。そのためにも、まず初心忘るべからずということで、毎日の予習復習をきちんとこなし、今後の進路を含め自分の在り方が塾生として恥ずかしくないよう精進していくこと、それが今の自分にできる感謝の表現だと思っています。



千葉県出身 理工学部2年

質の高いケアができる看護師になりたいです。

私は、2011年に父ががんで亡くなったことをきっかけに、病気や怪我で苦しむ方の支えになりたいと考え、看護師を志すようになりました。3年生では信濃町キャンパスに移動し、授業と病院実習を行います。看護の勉強もより専門化し、勉学に集中するためにも、今年度はアルバイトを最小限に控えております。学費や生活費の捻出に苦労する中で、貴奨学金に採用していただくことが決定し、母と共に非常に嬉しく感じ、深く感謝しております。

私は発展途上国における母子保健に興味があり、昨年度は医療系3学部合同ラオス・プライマリーヘルスケア保健医療チーム活動プロジェクトに参加いたしました。ラオスは発展途上国であり、乳幼児、周産期死亡率の高さや、感染症の蔓延など、保健医療に関する課題が多く存在しております。現地では、病院での実習や農村に数日間ホームステイをし、村の人々を対象とする保健衛生に関する調査や、小学校の児童に手洗いや歯磨きを指導する健康教育を行いました。

今後の課外活動に関して、ラオスで得た経験や学びを活かすべく、今年度からアフリカ医療研究会に入会し、国際協力活動の幅を広げていきます。私は特に子どもの栄養失調や、母子死亡率の改善について関心があり、地域住民へのインタビューや観察を通してコンゴ民主共和国の保健医療事情を知り、考察していきたいと考えています。

将来は看護師として慶應義塾大学病院で働き、患者さんに質の高いケアを行っていくことで、貴会と慶應義塾に恩返しをしたいと考えております。

神奈川県出身 看護医療学部3年

維持会の活動をさまざまなメディアでご紹介しています。ぜひご覧ください。



いいね! よろしくお願いします。



維持会Webサイトでは、
奨学生全員の『感謝のメッセージ』を
掲載しています。

慶應義塾維持会

検索

慶應義塾維持会 Newsletter No.9

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL.03-5427-1545 FAX.03-5427-1546

E-mail:kikin-box@adst.keio.ac.jp
http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/

発行日 2016年9月9日
発行 慶應義塾基金室 維持会担当

●ご意見・ご感想をお寄せください。